



扇の学びを進化させる

学校長 村越 新

本校では昨年度、入間市教育委員会の委嘱をいただき、『「楽しい授業」の展開（算数を中心に）』の校内研修を行ってきました。この研修では、日本の教育に長く根付いていた教師主体の一斉指導から脱皮し、学習者である子供が最適に学ぶ授業づくりを探ってきました。

先日、校内で研修の総括を行い、次年度に向けた確認を行いました。その一部を紹介します。



授業の基本隊形

低学年は**ペアがあるコの字型**（図1）

中学年はコの字型か**グループ**（図2）

高学年はグループか「**自己選択**」

授業の振り返りの基準（視点）

- 1 疑問に思ったこと
- 2 次にやりたいこと
- 3 友達に教えてもらったこと
- 4 できるようになったこと
- 5 分かったこと

* 上の記述ほど高く評価する

授業づくりの基本姿勢 「最高の授業像」(図3)

- ・学習活動が長い（最低 25 分間）
- ・「問い」が児童から生まれる

図1

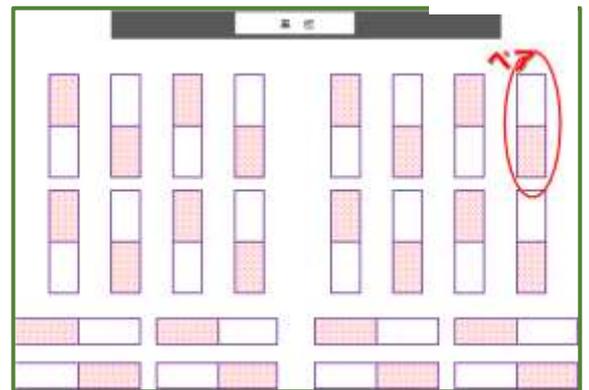


図2

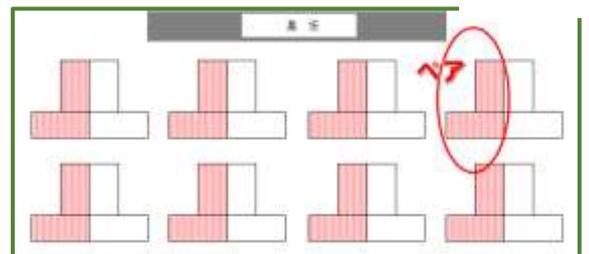


図3

学問のススメ 「問い」を生むために、学ぶのが授業

これまでの授業（45分間）

与えられた問いを解決し、「わかった!」「知った!」「できた!」で終わる。教師は問いを与え、教えることが主な仕事

これからの授業（45分間）

与えられた問いから「問い」が生まれ、「わかった!」だけでなく探索する「問い」が湧く。教師は子供の「問い」を生み出すことが主な仕事

授業後も探索が続く。大きな学びが待っている

- * 真の「**学び**」からは「**問い**」が生まれるはず
- * ! 「わかった」よりも ? 「**問い**」を大事にする
- * 問い続け、学び続ける子が育つ授業を**ススメ**たい



ボランティア感謝の会

本校では、日頃からたくさんのボランティアの方に学校を支えていただいています。その感謝を伝えようと、**環境ボランティア委員会**が感謝の会を行いました。出席して下さったボランティアさんを、委員会の子の**紹介の言葉**でお伝えします。

読み聞かせボランティア

4年生までの各クラスで読み聞かせをしてくれている。見やすい本の角度を考えるなど、子供が喜ぶように練習してきている。

図書ボランティア

図書室の本の整理や修理をしてくれている。子供たちが図書室を使いやすいように、きれいにしてくれる。

ベルの会

ベルマークを集めて学校備品等に換えてくれる。全校児童から集まるベルマークを一つひとつ計算してくれる。

農業ボランティア

大根やジャガイモ、小松菜などなどの野菜作りの手伝いをしてくれている。低学年の子には、植え方や育て方の指導までしてくれる。

家庭科ボランティア

家庭科の授業の手伝いをしてくれる。先生と同じように、分からないことを聞けば教えてくれるし、助言してくれる。

外国語ボランティア

主に読み方が分からないときに、発音を含めて読み方を教えてくれる。困っているとすぐに教えてくれるので、先生と同じように頼っている。

書写ボランティア

お手本のように字が上手で、書き方のコツを教えてくれる。上手に書けた時にはほめてくれるので、とてもうれしい。

見守り隊

毎日、登下校を見守ってくれている。この人たちのおかげで、安心して学校に来ることができるし、家に帰ることができる。

現在、扇小学校のボランティア登録者は**77名**います。終わりの言葉で児童代表の子が言ってくれたように「この方たちのおかげで、安心して登下校ができ、勉強も分かるようになっている」のです。教職員も、たいへん感謝しています。